第 27 回 支部総会資料

2019 年 5 月 21 日（火）

大阪科学技術センター　8F 中ホール

公益社団法人 日本コンクリート工学会

近　畿　支　部

総　会　次　第

1. 開会挨拶
　近畿支部 支部長

2. 議　事

2.1 議事録記録者、議事録確認者選任

2.2 報告事項

(1) 2018 年度 事業報告および収支決算について …… 2

(2) 2019 年度 事業計画および収支予算について …… 8

(3) 支部執行部の体制について …… 11

(4) 会員数の推移について …… 13

(5) 年次大会（神戸）の報告について …… 14

(6) 本部からの報告について …… 16

3. 閉会挨拶

【報告事項】

1. 2018 年度 事業報告および収支決算について

事　業　報　告

（2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日）

2018 年度は、さらなる支部活性化に向けて各委員会（総務、広報行事、調査研究）が昨年度に引き続き組織だって活動を推進し、会員や市民への情報発信に努めるとともに様々な機会を利用して委員相互の交流を深める取り組みを行っている。

総務委員会では委員会を 3 回開催し、支部運営に関わる横断的な事柄を統括するとともに、自主的な運営の定着化を図った。

広報行事委員会では委員会を 5 回開催し、ホームページの更新による情報発信、会員および市民を対象にした行事を実施した。

調査研究委員会では委員会を 3 回開催し、研究専門委員会の運営等を行った。

(1) 執行委員会

1) 第 1 回

開 催 日：2018 年 5 月 15 日（火）

場　　所：大阪科学技術センター 601 会議室

出 席 者：27 名

2) 第 2 回

開 催 日：2018 年 7 月 20 日（金）

場　　所：チサンマンション第 7 新大阪 1 階会議室

出 席 者：26 名

3) 第 3 回

開 催 日：2018 年 12 月 11 日（火）

場　　所：チサンマンション第 7 新大阪 1 階会議室

出 席 者：26 名

4) 第 4 回

開 催 日：2019 年 2 月 27 日（水）

場　　所：チサンマンション第 7 新大阪 1 階会議室

出 席 者：28 名

(2) 支部総会

開 催 日：2018 年 5 月 15 日（火）

場　　所：大阪科学技術センター 8 階 小ホール

出席会員：47 名

(3) 支部奨励賞表彰式

開 催 日：2018 年 5 月 15 日（火）

場　　所：大阪科学技術センター 8 階 小ホール

表彰人数：3 名

(4) 講演会

開 催 日：2018 年 5 月 15 日（火）

場　　所：大阪科学技術センター　8 階 小ホール

講演題目：「JCI・イメージアップ広報戦略検討委員会の活動報告」

講 演 者：岡本 享久 氏（立命館大学）

米澤 敏夫 氏（グローバル･マテリアルリサーチ株式会社）

(5) 見学会等

1) 一般市民（親子）対象現場見学会

開 催 日：2018 年 7 月 28 日（土）

場　　所：大阪ガス㈱泉北製造所第二工場

参 加 者：19 名（一般：15 名）

2) 会員対象現場見学会

開 催 日：2018 年 11 月 13 日（火）

場　　所：天ヶ瀬ダム再開発事業現場

参 加 者：16 名

(6) 研究専門委員会等

1) 暑中コンクリート工事の現状と対策に関する研究専門委員会（2014 年度公募）

委 員 長：麓　隆行（近畿大学理工学部社会環境工学科）（2015 年度、2016 年度）

熊野知司（摂南大学理工学部都市環境工学科）（2017 年度）

活動期間：2015 年度～2017 年度の 3 年間（2017 年度は延長期間）

委 員 数：26 名

成果報告会：2018 年 6 月 27 日（水）、朝日生命ホール、参加者 234 名

2) 銅スラグ細骨材の土木用コンクリートへの適用に関する研究専門委員会（2015 年度公募）

委 員 長：鶴田浩章（関西大学環境都市工学部都市システム工学科）

活動期間：2016～2018年度の3年間（2018年度は延長期間）

委 員 数：19名

委 員 会　：2018年5月18日　11名出席

2018年10月9日　16名出席

2019年2月8日　15名出席

ワーキング：2018年4月13日　6名出席

実　　験 ：2018年7月27日　7名出席
2018年11月13日　6名出席
2018年11月20日　4名出席

(7) 他学協会等との連携

1) 大阪北部の地震に対する災害調査団速報会（土木学会関西支部主催、当支部後援）
開 催 日：2018 年 7 月 19 日（木）
場　　所：関西大学千里山キャンパスソシオ AV 大ホール
参 加 者：420 名

2) セメント・コンクリート関西発表会 2018（コンクリート研究会との共催）
開 催 日：2018 年 10 月 23 日（火）
場　　所：大阪科学技術センター　401 会議室
出 席 者：94 名（発表件数 13 件）

3) 見学会（コンクリート研究会主催、当支部後援）
開 催 日：2018 年 11 月 1 日（木）
場　　所：花王㈱和歌山工場
参 加 者：21 名

4) セメント系固化材の利活用セミナー（セメント協会主催、当支部後援）
開 催 日：2019 年 2 月 20 日（水）
場　　所：大阪国際交流センター

5) 第 15 回圧送技術研究会（建築学会近畿支部、近畿生コンクリート圧送共同組合共催、当支部後援）
開 催 日：2019 年 2 月 26 日（火）
場　　所：大阪工業大学 梅田キャンパス

6) 「暑中コン工事対策マニュアル 2018」改訂報告会（建築学会近畿支部主催、当支部後援）
開 催 日：2019 年 3 月 7 日（木）
場　　所：大阪科学技術センター 8 階 大ホール

7) 「銅スラグ細骨材を使用したコンクリートの動向と研究の現状」（建築学会近畿支部主催、当支部後援）
開 催 日：2019 年 3 月 27 日（水）
場　　所：大阪科学技術センター 404 会議室

(8) 収支決算

1) 貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日現在

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
資産		負債	
Ⅰ 流動資産		Ⅰ 流動負債	
1．現金		1．預り金	
2．普通預金	965,055	2．未払金	
3．当座預金			
4．定期預金			
5．未収金		資本	
6．本部預け金	1,000,000	Ⅰ 出資金	
		Ⅱ 剰余金	
		1．前期繰越損益	2,606,892
		2．当期損益	−641,837
計	1,965,055	計	1,965,055

三菱東京ＵＦＪ銀行新大阪駅前店

2) 2018（平成 30）年度 一般正味財産増減計算書

（単位：円）

平成３０年度一般正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

科　　目	当年度	前年度	増減
1.　収入の部			
（１）事業収益			
1）講演会等収益（見学会含む）	884,000	0	884,000
事業収入計	884,000	0	884,000
（２）その他収益			
2）受取利息	19	29	-10
3）懇親会参加費収益	144,000	168,000	-24,000
6）本部よりの交付金	1,887,040	1,879,840	7,200
その他収益計	2,031,059	2,047,869	-16,810
合　　計(A)	2,915,059	2,047,869	867,190
２．支出の部			
（１）事業費			
1）調査研究事業費	409,395	301,187	108,208
2）広報事業費	349,128	363,583	-14,455
3）講演会等事業費（見学会含む）	1,007,226	232,690	774,536
4）表彰事業費	65,640	47,478	18,162
5）その他費用	0	0	0
事業費計(a)	1,831,389	944,938	886,451
（２）管理費			
1）総会費	531,432	482,602	48,830
2）執行委員会費	150,290	184,370	-34,080
3）事務委託費	777,600	907,200	-129,600
4）旅費交通費	3,000	6,500	-3,500
5）通信費	99,244	83,046	16,198
6）消耗品費	23,973	20,299	3,674
7）借室料	129,600	129,600	0
8）手数料	10,368	9,180	1,188
9）その他雑費	0	0	0
管理費合計(b)	1,725,507	1,822,797	-97,290
経常費用合計(B=a+b)	3,556,896	2,767,735	789,161
当期正味財産増減額(C=A-B)	-641,837	-719,866	78,029
正味財産期首残高(D)	2,606,892	3,326,758	-719,866
正味財産期末残高(C+D)	1,965,055	2,606,892	-641,837

3) 監査報告書

平成 31 年 4 月 23 日

公益社団法人日本コンクリート工学会
会長　芳 村　学　殿

内 部 監 査 報 告 書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの平成 30 年度における会計および業務の監査を行い、適切に執行されていることを認めます。

以上

公益社団法人日本コンクリート工学会 近畿支部
検　査　役　河野元隆

2. 2019 年度 事業計画および収支予算について

事　業　計　画

（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）

2019 年度もさらなる支部活性化に向けて各委員会（総務、広報行事、調査研究）が連携をとりながら、継続的な活動を積極的に推進することとする。

(1) 執行委員会・委員会等

適宜実施

(2) 支部総会

開 催 日：2019 年 5 月 21 日（火）

場　　所：大阪科学技術センター 8 階 中ホール

(3) 座談会

開 催 日：2019 年 5 月 21 日（火）

場　　所：大阪科学技術センター　8 階 中ホール

テ ー マ：「コンクリート技術の未来を JCI 会長と語ろう」

パネリスト：芳村 学 氏（JCI 会長）

(4) 講演会

開 催 日：2019 年 5 月 21 日（火）

場　　所：大阪科学技術センター　8 階 中ホール

講演題目：「道路インフラのメンテナンスサイクル構築の取り組みと課題」

講 演 者：河合 良治 氏（国土交通省近畿地方整備局）

(5) 見学会、セミナー

1) 会員対象現場見学会

開 催 日：2019 年 7 月 29 日（月）

場　　所：京都市役所

内　　容：本庁舎の免震レトロフィット工事見学

2) 一般市民（親子）対象見学会

開 催 日：2019 年 9 月頃

場　　所：未定

3) 学生対象セミナー

開 催 日：2019 年 11 月、12 月

内　　容：特殊コンクリート練混ぜ・打込み体験

(6) シンポジウム

支部設立 25 周年記念シンポジウム

開 催 日：2020 年 1 月頃

場　　所：大阪科学技術センター（予定）

内　　容：特別講演、座談会、創作落語

（参考）近畿支部設立：1994 年 3 月 15 日

(7) 研究専門委員会等

1) コンクリート試験の省力化に関する検討委員会（2018 年度公募）

委 員 長：武田 宇浦（明石工業高等専門学校 都市システム工学科）

活動年度：2019 年度～2020 年度の 2 年間

委 員 数：21 名

活動計画：各種コンクリート試験における課題を抽出し、試験の頻度、重要度および解決策の実施可能性を勘案したうえで取り組むべき試験方法を絞り込み、検討対象とする試験方法が決められた経緯を調査するとともに解決策を検討し実験計画を立案する。その後、WG を立上げて具体的な実施内容を検討し、実施可能な実験に着手する。

2) 高流動性コンクリートの実用化促進に関する調査研究委員会（2018 年度公募）

委 員 長：中川 隆夫（大阪兵庫生コンクリート工業組合）

活動年度：2019 年度～2020 年度の 2 年間

委 員 数：15～20 名

活動計画：高流動性コンクリートの実用化を促進するために、高流動性コンクリートの性状調査、実機での製造性、簡易な分離抵抗性の評価、圧送性および実大モデルによる施工性評価等について、文献調査および各種の実験を実施する。成果は、製造者向けのマニュアルとして整理し、シンポジウムを開催して情報発信を行う。

(8) 表彰事業

公募により支部奨励賞 3 件程度を選考のうえ、表彰事業を実施する。

⑼ 収支予算

（単位：円）

２０１９年度収支予算書

2019年4月1日から2020年3月31日

科　　目	当年度	前年度	増減
1.　収入の部			
（１）事業収益			
1）講演会等収益（見学会含む）	500,000	0	500,000
2）業務援助報酬（技士・主任技士）	0	0	
3）業務援助報酬（診断士）	0	0	
事業収入計	500,000	0	500,000
（２）その他収益			
1）受入送料	0	0	0
2）受取利息	19	0	19
3）懇親会参加費収益	160,000	160,000	0
4）雑収益	0	0	
5）年次大会還元金	8,670,000	0	
6）本部よりの交付金	1,800,000	1,800,000	0
その他収益計	10,630,019	1,960,000	19
合　　計(A)	11,130,019	1,960,000	500,019
２．支出の部			
（１）事業費			
1）調査研究事業費	1,000,000	650,000	350,000
2）広報事業費	2,160,000	720,000	1,440,000
3）講演会等事業費（見学会含む）	700,000	250,000	450,000
4）表彰事業費	60,000	60,000	0
5）その他費用	0	0	0
事業費計(a)	3,920,000	1,680,000	2,240,000
（２）管理費			
1）総会費	450,000	450,000	0
2）執行委員会費	200,000	200,000	0
3）事務委託費	648,000	778,000	-130,000
4）旅費交通費	15,000	15,000	0
5）通信費	80,000	80,000	0
6）消耗品費	20,000	20,000	0
7）印刷費	0	0	0
8）水道光熱費	0	0	0
9）借室料	130,000	130,000	0
10）手数料	15,000	15,000	0
11）その他雑費	0	0	0
管理費合計(b)	1,558,000	1,688,000	-130,000
経常費用合計(B=a+b)	5,478,000	3,368,000	2,110,000
当期正味財産増減額(C=A-B)	5,652,019	-1,408,000	7,060,019
正味財産期首残高(D)	1,965,055	2,606,892	-641,837
正味財産期末残高(C+D)	7,617,074	1,198,892	6,418,182

3. 支部執行部の体制について

現在の近畿支部執行部（支部長、副支部長、支部幹事、支部執行委員）は 42 名で構成されている。任期満了（2019 年 5 月末）の執行部員 22 名（支部長 1 名、副支部長 1 名、支部幹事 2 名、支部執行委員 18 名）の他、任期途中で交代する執行部員 3 名（うち 1 名は支部長候補者、1 名は支部担当理事候補者）の合計 25 名が改選の対象になっている。

さらに、2018 年度第 3 回執行委員会（2018 年 12 月 11 日）において、2019 年度に支部設立 25 周年記念行事を計画していること、さらなる支部の活性化、支部会員増を図ることについて審議が為され、その結果、支部執行委員を 10 名程度増員すること、各委員会（総務、広報行事、調査研究）の副委員長（現執行委員）を幹事とすることが決定されたことを踏まえ、以下のとおり改選を行った。

(1) 支部長および副支部長

支部長候補者は建築系統から永山勝氏（(一財）日本建築総合試験所常務理事）を、また副支部長候補者は岸本一蔵氏（近畿大学教授）を選出した。

なお、支部長および副支部長は、支部規程第 5 条の定めにより理事会での選任となっており、5 月 22 日に開催される定例理事会において選任される予定である。

(2) 幹事および執行委員

① 各委員会の副委員長を幹事とすることから現行 5 名の幹事を 10 名とした。

② 改選対象者 25 名のうち交代する場合には、若返りを図ること、業種等のバランスを配慮すること等を考慮して選任した。

③ 新たに増員する執行委員（12 名）については、若返りを図ること、業種等のバランスを配慮することに加え、女性比率の向上を踏まえて選任した。

④ 支部規程では支部幹事および支部執行委員は原則として毎年約半数が交代するよう規定されていることから、本来、新たに増員する執行委員（12 名）の任期は 2 年であるが、半数の 6 名の任期を 2020 年 5 月末の 1 年（暫定）とした。

以上より、支部執行部は下表のとおり 51 名とする。

	支部長	副支部長	幹　事	執行委員	合　計
現　行	1 名	1 名	5 名	35 名（3 名）	42 名
改選後	1 名	1 名	10 名	39 名（7 名）	51 名

凡例：(　　) は女性の人数で再掲

<2019 年度 支部執行部体制＞

役職		氏名	所属	改選後の任期		改選内容				備考
				2020.5	2021.5	再任	新任※1	増員※2	役職替	
支部執行部	支部長	永山　勝	(一財)日本建築総合試験所		○				○	候補者
	副支部長	岸本　一蔵	近畿大学		○		○			候補者
	支部幹事	井上　晋	大阪工業大学	○						
		岩清水　隆	㈱竹中工務店		○	○				
		大谷　恭弘	神戸大学大学院	○						
		奥立　稔	㈱大林組	○					○	
		鎌田　敏郎	大阪大学大学院		○				○	
		辻村　隆	㈱バウエンジニアリング	○					○	
		鶴田　浩章	関西大学		○	○				
		服部　篤史	京都大学大学院	○						
		松本　茂	(一財)阪神高速道路技術センター	○					○	
		村田　一郎	西日本旅客鉄道㈱	○					○	
	支部執行委員	市岡有香子	(一財)日本建築総合試験所	○			○			
		伊藤　尚子	大和ハウス工業㈱		○			○		
		今村　りえ	中央復建コンサルタンツ㈱	○						
		上田　清	和歌山県生コンクリート工業組合		○			○		
		岡田　浩樹	大成建設㈱		○	○				
		川崎　佑磨	立命館大学		○	○				
		川瀬　哲生	太平洋セメント㈱		○	○				
		栗延　正成	阪南産業㈱		○	○				
		小山　宣幸	宇部三菱セメント㈱		○	○				
		佐伯　奈都美	ジェイアール西日本コンサルタンツ㈱	○						
		真田　靖士	大阪大学大学院	○				○		
		下部　裕司	㈱奥村組	○						
		城井　優季	㈱ダイイチ		○			○		
		高田　良章	㈱フローリック		○		○			
		髙見　新一	大阪産業大学	○						
		高森　太郎	清水建設㈱	○						
		竹内　寿文	㈱建研	○				○		
		武田　宇浦	明石工業高等専門学校	○						
		田邉　太一	大手前大学		○	○				
		谷　昌典	京都大学大学院		○	○				
		友成　弘樹	㈱IHIインフラ建設	○				○		
		中村　士郎	住友大阪セメント㈱		○		○			
		長岡　誠一	㈱中研コンサルタント	○						
		西崎　丈能	大阪ガス㈱	○						
		橋野　哲郎	㈱ピーエス三菱		○	○				
		橋本　崇志	東洋建設㈱		○			○		
		福島　和将	ポゾリスソリューションズ㈱		○		○			
		福本　育央	鹿島建設㈱	○						
		藤原　規雄	㈱国際建設技術研究所		○	○				
		麓　隆行	近畿大学		○		○			
		前田　朗	大阪兵庫生コンクリート工業組合		○	○				
		三方　康弘	大阪工業大学	○				○		
		三木　朋広	神戸大学大学院	○				○		
		水野　克彦	三井住友建設㈱	○			○			
		山崎　順二	㈱淺沼組	○						
		山田　藍	㈱竹中工務店		○			○		
		山本　貴士	京都大学大学院	○				○		
		横山　和昭	西日本高速道路㈱		○		○			
		吉田　育央	㈱シーエスインスペクター		○			○		
	合計			25名	26名	12名	8名	12名	6名	

※1 新任とは前任者からの交代者で新たに執行部に選任された者をいう
※2 増員とは執行委員を増員したことによって新たに執行委員に選任されたものをいう

【参考：支部付き】

支部付き	顧問	田中　仁史			○	○				
		西山　峰広	京都大学大学院		○	○				
		松田　好史	西日本旅客鉄道㈱		○	○				
		宮川　豊章	京都大学		○	○				
		森川　英典	神戸大学大学院		○			○		
	支部出納管理者	伊藤　勝人	(一社)プレストレストコンクリート建設業協会							

【参考：本部付き】

本部	支部担当理事	熊野　知司	摂南大学		○		○			候補者
	検査役	河野　広隆	京都大学経営管理大学院		○	○				再任予定

4. 会員数の推移について

年度	個人会員			団体会員						備考
				第１種	第２種				合計	
	正	学生	合　計		１級	２級	３級	４級		
H13(2001)			996						41	近畿支部の記録
H14(2002)			994						51	
H15(2003)			992						36	
H16(2004)										
H17(2005)										
H18(2006)										
H19(2007)										
H20(2008)										
H21(2009)										
H22(2010)			895						36	
H23(2011)	789	22	811	5	0	0	4	27	36	本部照会
H24(2012)	739	38	777	5	0	0	3	30	38	
H25(2013)	710	35	745	5	0	0	3	32	40	
H26(2014)	686	51	737	4	0	0	3	35	42	
H27(2015)	676	47	723	4	0	0	3	36	43	
H28(2016)	711	26	737	5	0	0	3	36	44	
H29(2017)	723	38	761	5	0	0	3	36	44	
H30(2018)	701	51	752	4	0	0	3	39	46	

※ H23~H30 年度は、各年度末現在の会員数

5. 年次大会（神戸）の報告について

第 40 回コンクリート工学年次大会 2018（神戸）は、およそ 1,690 名の登録参加者（招待者を含む）をお迎えし、「美（み）・永（な）・都（と）コンクリート～美しく永く都市を支えるコンクリート～」をキャッチコピーとして、2018 年 7 月 4 日（水）～6 日（金）の 3 日間、神戸ファッションマートで開催した。

なお、3 日目の午後は悪天候で大会が中止となったため閉会式は開催しなかった。

(1) 第 40 回コンクリート工学講演会

- 3 日間 10 会場において 559 件（うち 76 件は悪天候のため発表できず）の論文・報告が発表された
- 延べ参加人数は約 3,200 名
- 年次論文奨励賞（2018 年 1 月 1 日時点において 40 歳未満、かつ過去の受賞回数が 2 回未満の講演者が対象）の受賞者は 48 名で平均年齢は 28.7 歳

(2) コンクリートテクノプラザ 2018

- 83 社・グループ（100 小間）の企業・団体から新技術の展示・説明が行われた（コンクリートテクノプラザ史上（2002 年以降）最大の規模）
- 来場者は 3 日間で延べ約 9,700 名
- 技術紹介セッションでは 51 社の最新技術が紹介され、参加者は延べ約 1,460 名

(3) 生コンセミナー

- 大会初日に「生コンクリートの現場をもう一度考える」をテーマに 3 部構成で開催し、聴講者数は約 600 名
- 第 1 部は 7 年前の大阪大会で取り上げた話題のその後について報告し、第 2 部は生コンクリート等の建設業界で活躍する女性技術者による経験を踏まえた対話を、第 3 部は本部の「イメージアップ広報戦略検討委員会」の中から関連する話題について報告を行った

(4) 特別講演

- 大会 2 日目に開催し、聴講者は一般の参加者を含めて 284 名
- 講演者は田辺眞人先生（園田学園女子大学名誉教授）で「コンクリートと神戸の分化遺産」と題して、兵庫・神戸の発展を支えてきた歴史的構造物・建造物をテーマに講演を頂いた

(5) キング・オブ・コンクリート 2018

- 全国の大学・大学院・高専・高校・専門学校から 18 校 20 チームがエントリー
- 競技は曲げ強度部門、クイズ部門、フレッシュモルタル部門の 3 部門で開催され、各部

門を通して、セメント材料、配合（調合）、フレッシュの特性、強度特性、構造に関する知識の理解と技術力の高いチームがキング・オブ・コンクリートを勝ち取った

(6) 見学会

・ 大会初日に「阪神・淡路大震災に関する資料館を巡るコース」（参加者 18 名）と「明石海峡大橋と淡路島・北淡を巡るツアー」（参加者 31 名）の 2 つを、2 日目に「六甲山の日本最古の重力式コンクリートダムを巡るツアー」（参加者 34 名）を企画

・ 悪天候のため 2 日目の企画は「竹中大工道具館」と「神戸市奥平野浄水場」に変更

(7) 懇親会

・ 会場である神戸ファッションマートに隣接する神戸ベイシェラトンホテル＆タワーズで開催し、悪天候のなか 425 名が参加

6. 本部からの報告について

主に支部に関係する事項のみ抜粋して以下に記載する。

(1)　平成 30 年 7 月 9 日（月）

7 月定例理事会

・平成 29 年度決算に係る公益認定基準（財務基準）の適合状況（収支相償、公益目的事業費比率および遊休財産額保有制限）の 3 基準のいずれにも適合

・コンクリート診断士試験受験申込者数　5,865 名（対前年 507 名減）

・コンクリート技士・主任技士研修会 受講申込者数は 12,207 名（技士 9,753 名、主任技士 2,454 名）。次々年度より e ラーニングへの切替えの予定。

(2)　平成 30 年 8 月 24 日（金）

8 月定例理事会

・本年度の年次大会の大雨による中止をうけて、大会および講習会等の災害時の取り決めについて定めることが決定された（H31 年 2 月の理事会で内容が確定）。

・コンクリート診断士合格者数　664 名（合格率 14.8%）。次年度から診断士試験の記述式はＡ問題を削除し、Ｂ問題だけ出題。

・平成 30 年 7 月豪雨で被災した会員に対する会費の免除について提案があり承認された。

(3)　平成 30 年 10 月 30 日（火）

10 月定例理事会

・コンクリート技士・主任技士研修会受講者数 11,781 名（内技士 9,390 名）

(4)　平成 30 年 12 月 26 日（水）

12 月定例理事会

・平成 30 年 4～11 月会計報告により損益が改善した旨の報告があった。
〔良化要因〕年次大会（約 1,300 万円）、事務局人件費（約 880 万円）、診断士試験委員会（約 280 万円）、コーヒーサービス廃止・事務所清掃費見直し（約 200 万円）、会誌印刷製本費(約 180 万円)

・コンクリート技士・主任技士合格者数　技士: 2,644 名（合格率 29.6%）、主任技士 418 名（同 13.2%）

・年次大会 2018（神戸）の収支報告があった

・年次大会支部還元金と支部繰越金残高基準の改正（還元金の 8 年間使用が可能となった）。また「特定事業に還元金を活用する場合には理事会の承認を経て支部繰越金残高基準とは異なる運用ができる」こととなった。

(5)　平成 31 年 2 月 22 日（金）

2 月定例理事会

・平成 31 年度予算について、平成 30 年度は費用に関して種々の暫定的運用を実施してきたが、平成 31 年度については一部を除いて元に戻す予定。

・平成 29・30 年度役員候補者の承認

・学会賞受賞候補者の承認

・年次大会 2018（神戸）還元金企画が承認された。

(6)　平成 31 年 3 月 26 日（火）

3 月定例理事会

・平成 31 年度事業計画

247.4 万円の赤字予算でスタート（ただし、支部の赤字 447.5 万を含めた数値なので、本部のみの数値としては黒字、収入規模約 8 億円）

・支部規程の一部が改訂された。「支部総会」の他に「活動報告会」を開催することができるようになった。（通常「支部総会」で報告事項としていた事項（支部規程第 9 条 3 項）を「活動報告会」においても報告することを可能とするための改定で、中部支部が 1 月に「支部総会」、5 月に「活動報告会」を行うために改定が必要であった。）